

ProMED-mail情報 2018年 1月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH (厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>) に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

	表 題	概 要
30日	黄熱 ブラジル	2018年1月30日、保健省は国の黄熱に関する州立事務局の情報を更新。2017年1月1日～2018年1月1日のモニタリング期間中に、81例の死亡を含む213件を確認。合計1080の疑い例中432例が否定され、435例が調査中。保健省は2017年までに、連邦政府に約5890万回のワクチン接種。サンパウロ、ミナスジェライス、リオデジャネイロ、エスピリトサント、パイア州では、ワクチン接種戦略を強化する目的で約4980万回を接種。
27日	ジフテリア オーストラリア	ジフテリア陽性と診断された27歳男性がケアンズからブリスベンまで航空機で移動。クイーンズランド州保健局は感染を追跡し予防するために、男性が接触していたすべての人々に連絡。保健省の広報担当者によれば、この男性に最近の海外渡航歴はない。予防接種を受けておらず、保健当局は予防接種の重要性を強調。オーストラリアでは有効なワクチンが導入されているため稀だが、ワクチン接種率の低い国では未だ蔓延。2015年には世界中で約4500症例。
19日	発疹チフス タイ	公衆衛生省は、冬季の旅行帰りに、熱、頭痛、下痢等の症状があれば発疹チフスやマラリアの可能性があるので医師の診察を受けるよう警告。これらは一年中発生するが、冬の間に増加。2017年10月1日～2018年1月12日までに2,185人の発疹チフス患者が確認され、そのうち2人が死亡。症状は、発熱、頭痛、体の痛み、乾いた咳等が、チガ(ダニの幼虫)に噛まれてから10-12日後に出現。一部に肺炎や脳炎などの重篤な合併症。
12日	狂犬病 米国	2018年1月1日、バイル地域の女性が狂犬病疑いのキツネを蹴飛ばそうとしてふくらはぎを噛まれ治療中。キツネはコウモリやスカンクとともにアリゾナ州の主な狂犬病宿主。異常行動を認めたり病气らしい様子の野生生物とは接触を避け、死体にも触れるべきではない。
11日	A型肝炎 米国	2017年1月1日以来、ユタ州の公衆衛生は、A型肝炎ウイルス(AHA)感染152例を確認。多くはホームレスや不法薬物使用者。入院率が70%と高い場合もあるが、その理由は潜在的な病气(アルコール依存症など)またはより高い割合の肝炎併存疾患(B型肝炎またはC型肝炎など)の結果という可能性がある。公衆衛生当局は、その集団の症例や周囲への接触を特定して、教育の提供や予防接種の機会を確保。ワクチン接種は、感染を予防する最良の方法。
9日	鳥インフルエンザ (H5N6) 韓国	韓国南西部の家鴨農場で新たな鳥インフルエンザが確認されたと、8日農業当局が発表。ソウルの南355kmの羅州の農場で、H5亜型鳥インフルエンザ(AI)が確認され、全数16,500羽が処分。確定診断されれば2017年12月29日に続く感染。2017年11月19日の発生以来、韓国国内では11例が確認され、1例を除いてすべてが全羅道で発生。
8日	ハンタウイルス 感染症 南米	ペノスアイレスのカンタナで19歳の若者が経過観察のため入院中。水や漂白剤で家庭内を清掃、密閉空間の換気、草刈り、食品廃棄物を蓄積しないなどして病気を予防。症状は、頭痛、筋肉痛や腹痛、吐き気や嘔吐等、風邪症状がない高熱。農村部や不潔な地域にいる感染したげっ歯類が、便や尿を介して環境中にウイルスを排出し、呼吸経路を介して人々に伝染。最も効果的な予防措置は、齧歯類を家に近づけないこと。
6日	クリミア・コンゴ 出血熱 ウガンダ	ウガンダ中部ナカセケ県の9歳男児が、クリミア・コンゴ出血熱(CCHF)の疑いがあるとして病院で隔離中。2017年12月22日に食欲不振・下血・頭痛などCCHFを疑う症状があるとしてBamugoledde保健センターから転院。高熱・嘔吐・全身の衰弱・腹痛などの症状。ナカセケ県では2017年8月に流行が報告され、21例の罹患者のうち8人が死亡し、保健省総監はウイルスに感染したダニに刺される、感染した動物の血液や組織との接触、感染者との体の接触などを通じて伝染すると警告。
6日	梅毒 日本	梅毒が若い女性らに広がり、国立感染症研究所の集計によると2017年の患者数は、1999年以降で初めて全国で5千人を超えた。2017年12月17日までに報告された患者数は5,534人。都道府県別で見ると東京都が1,705人と最多で、大阪府(788人)愛知県(325人)神奈川県(312人)など都市部が目立つ。妊婦が感染した場合、先天性梅毒として胎児に影響。
5日	ジフテリア バングラデシュ	ロヒンギャ難民間での流行によるジフテリア疑い例は著しく増加しており、死者27名を含む2,526例。これらの住民についての問題は、低栄養、低ワクチン接種率、清潔な水やトイレ設備の欠如など。罹患者の75%が15歳以下であり、WHOは7～15歳の子供1,023,383人にTd(破傷風およびジフテリア)ワクチンを接種。
2日	MERS マレーシア	マレーシアの保健当局は、ウムラ巡礼からの帰国者にMERS-CoV感染症を確認したと発表。55歳男性は12月23日に巡礼から帰国し、24日に発熱・咳・体力低下・疲労・足の痛みを訴え近医で解熱治療を受けたが、28日に入院。渡航歴からMERS-CoVのスクリーニング検査が行われ陽性と確認。現在状態は安定。ラクダ農場を訪れ、生のラクダミルクを飲んだ。
1日	ロスリパーウイルス 感染症 オーストラリア	2017年ペンディゴではロスリパーウイルス感染症が急増。過去12ヶ月間に80例が確認され、昨年の12例と比べ6倍増。2017年のみで7000人のオーストラリア国民が感染したと推計され、前年の3735例から増加。ただしビクトリア州の保健当局者によれば、ほとんどの感染は豪雨のあった後の2017年初頭に発生しており、最近3週間の報告はわずか11例。